

4種委員会主催試合に関する雨天中止判断基準、および連絡方法について（2018）

後期日程発表の注意書きにも大きく記載していますが、まず第一には迅速に『神戸のサッカーホームページ』に掲載するようにいたします。ただ昨年までの「モバイルサイト」に比べると、毎回必ず決定を即座に掲載できない可能性もありますので、4種委員会から団代表宛ての全団配信メール、あるいは地区長や各地区委員・担当者を通じて代表者宛てのメール配信も併用します。今後後期リーグ Day を始めとしてライオンズ、全日等の各種大会において試合予定日に台風接近や激しい雨が予想される場合は特に、各団代表者の方は朝からメールでの連絡に注意していただきますようお願いいたします。

試合中止の判断ですが、まずは以下の基準をご理解下さい。

① 警報（但し 暴風、大雨、洪水、大雪 のいずれか）発令による大規模な中止の場合

午前7時の時点で上記警報が出ていれば、午前の試合は中止決定とします。

午前10時の段階で出ていれば、午後の試合は中止。⇒ 朝出ていても午前10時までにそれがすべて解除されていれば、12時以降に始まる試合については開催の方向（スケジュールの状況、また組合せによって判断・連絡します）

② 警報発令ではないが激しい雨により会場ごとの中止判断をする場合

学校はもとより公共施設のグラウンドにおいても、激しい雨でグラウンドコンディション不良などの理由により使用できない場合があります。やはり朝は7時頃までに、午後の試合については10時、11時ごろまで（試合開始の2時間前を目安とします）に判断を下し連絡します。会場Aは中止、会場Bでは開催、ということも有り得ますので、間違いのない情報を伝達していただくようお願いいたします。

③ 交通機関の乱れ（雪による高速道路、公共交通機関の不通等）の影響が大きい場合

②同様警報が出ていなくても多くのチームが試合会場へ到着できないほどの交通機関の乱れがある場合には、中止決定や試合開始時刻変更等が有り得ます。これは決まり次第連絡しますが、天候よりも予測が難しい場合もあると思われるため、集合、出発後、現地到着後にそれらの情報が伝わる場合にもご理解、ご了承いただきますようお願いいたします。

④ 雷雨による中止の場合

これは現地でしか判断できないことが多く、各団が出発前に連絡できる可能性はほぼないと思われます。現地へ到着してからの中止判断、スケジュールの遅延等にもご理解をお願いいたします。

委員会としては常に子供たちのことを考えて運営するよう心がけておりますが、自然のことであり、また昨今日本協会からの非常にタイトな大会スケジュール指定などのある中での運営となってきており、悪条件の中での試合などが増えてしまうかもしれません。皆様のご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。